

ひめだ高宏ニュース

日本共産党 和歌山市会議員

NO.1072

15.9.29

立命館大学生の国体調査に協力

9月26日(土)20/5わかやま国体の開会式をテレビで見ながら、立命館大学産業社会学部の学生さん(男5人)の依頼を受け国体周辺施設の聞き取り調査に協力し、市議会での国体予算・施設整備などの質問に答え、時間ほぼ懇話しました。

ビビリ戦争法にパンダも反対



軽妙な白浜パンダの漫才

9月23日(祝)戦争をせぬ和歌山委員会や憲法九条を守るわかやま市民の会など9団体が出場し、会場の入り口で「戦争法廃止を求め、和歌山城西の丸石場で」

フリーの人々



<855>



戦争法廃止の国民連合政府の出現を望みます



女憲主義・民主主義を破壊する安倍政権を根っから引きぬこう



おじいさんをおばあさんがおばあさんをこどもがこどもを犬か大を猫か



ほんまそんへ「大まなかりん」やと思

開かれ、県内各地から五百人が参加しました。私、ひめだも「民の声聞かん政治はアカン」の新しいプラカード(裏面は前回作成「なんちゃーでも戦争はイヤ」)を持って参加。
岸本衆院議員や下角覚県委員長などのベテラン若者のスピーチも良かったですが、ビビリなのは、白浜の野良パンダが戦争法反対の漫才。こぼれたかけ



白地に赤く新しいプラカード

あいであえました。集会のあとは、「憲法違反の戦争法廃止」「武器を

今週のフツの人々

(18)

9月19日、日本共産党の志位委員長は「戦争法(安保法制)廃止の国民連合政府」の実現をよびかけますーを発表しました。このよびかけは、戦争法(安保法制)廃止、安倍政権打倒のたかいをさらに発展させよう。

持たすな希望を持たせろ」などとコールをしながら、JR駅前までパレード。

2. 戦争法廃止で一致する政党・団体・個人が共同して国民連合政府をつくらう。3. 「戦争法廃止の国民連合政府」で一致する野党が、国政選挙で選挙協力を行おうという3つの項目で構成。



ひめだ高宏

人口ビジョン、人口減少傾向の要因

前号に続き、9月18日（金）に開かれた市議会議員協議会において、尾花市長から説明のあった和歌山市人口ビジョン及び和歌山市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要について報告します。

人口ビジョンは、2014（H26）制定のまち・ひと・しごと創生法に基づく計画で人口減少傾向の要因

【説明】

を分析し、施策の充実で減少を緩和するため、①安定した雇用を創出する。②和歌山市への新しい人の流入を促す。③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。④時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る。の4つの基本目標を定めています。

目標達成の計画が「総合戦略」で、2015（H27）

（から2019（H31）までの5か年計画で数値目標を示しています。①雇用の創出では、5年間で1800人（うち企業誘致で420人、他は起業など）と。

②新しい人の流入では、社会増減数を輸入超過に転じると。③子育ての希望では、合計特殊出生率を1.43から1.7に。④地域づくりでは、住みよいく感じる市民を13.9%から80%に上げるなどとしています。

日本共産党



「国民連合政府」実現を戦争法案廃案の運動はかつてないほど広がりま

「おもしろくない」「この水からだ」「勢いを揃す仲間がたくさん集まってきた。この流れは、わたしたちの側に真正面から応え、日本共産党は「戦争法廃止の国民連合政府の実現」を提案しました。志位委員長が発表したこの提案を歓迎する声をこの間たくさん聞きました。戦争法は国民のいのちを危険にさらすものです。私は、戦争法を一刻も早く廃止するために、お力をおかけぬべし、みなさんと一緒にこの実現へ頑張ります。



さかいちゆ美子 (参院選挙区)

大門みき 参院議員 参院 参院

「閉じられた正門」

9月18日夜の参議院本会議で、戦争法案を強行採決した鴻池委員長の問題決議案に賛成の討論を行ないました。

小林節・慶大名誉教授は中央公聴会で、憲法96条を変えて改憲のハードルを下げようとした安倍首相のやり方を「裏口入学」と厳しく批判したうえで、今回の戦争法案を「閉じられた正門を蹴破って押し入るようなもの」と断罪されました。

その表現を引用しながら、「どうしても集団的自衛権を行使したいなら、このまかせたり、甘愿な入理屈を並べたり、憲法を勝手に踏みこむのではなく、正々堂々と憲法改正を提案すべきだ」と言いました。

終わってから本会議場を出るとき、鴻池さんが私に「

いい討論だった。ありがと」と言いました。問責の賛成討論をして本人からおれを言わされたのは初めてです。周りにいた自民党議員たちも「大門さん、よかったよ」とほめるので、徹夜の疲れで人の話が逆さまに聞こえるようになってしまったのかと思いました。

連休明けに会った同じ委員会に所属する自民党議員が解説してくれました。「参院自民党には安倍さんの『解釈改憲』というやり方に疑問を持つ人が多い。あのとき大門さんに卑怯だと叱られ、もっと堂々とこころを言われてしびれたんだよね」と。本気でそう思ったなら、安倍首相の暴走を参議院で止めるべきだった。止められなかった責任は、次の参議院選挙で自分たちが取ることになるのだから。